



旧伊藤博文邸（県指定有形文化財）

明治43年、伊藤公の遠祖 林淡路守通起の没後300年にあたり、林一族および伊藤家を集めて法要を行うために建てられたものです。

伊藤公自らが基本設計を行い完成を望んでいましたが、明治42年10月、完成を目前にハルビン駅で狙撃され、故郷に帰ることなくその生涯を終えました。

平成16年2月、大規模な補修工事を終え、現在は旧伊藤博文邸として公開されています。



伊藤博文銅像

昭和35年10月、伊藤神社跡地に、永く伊藤公の面影を偲ぶ目的で建立されました。(河内山賢祐氏作)

また、旧伊藤博文邸前に建つ立像は、伊藤公が完成をみる事ができなかった旧邸を、未永く見守ってもらうために、平成16年3月に建立されました。



伊藤博文公の生家

伊藤公は、天保12(1841)年9月2日 林十蔵・琴子の長男として、この茅葺の家で生まれました。

生家は、平成3年に現在の位置に復元され、産湯に使ったとされる井戸とともに保存されています。



産湯の井戸

生家の裏には、伊藤公が産湯に使ったとされる井戸が残されています。



HIROBUMI ITO MUSEUM  
SINCE 1997

伊藤公資料館

HIROBUMI ITO MUSEUM

HIROBUMI ITO

■交通のご案内

Access

●電車

山陽新幹線「徳山駅」乗換え  
山陽本線上り「岩田駅」下車  
岩田駅から車で約5分(約4km)

●乗用車

山陽自動車道「熊毛IC」から  
約10分(約5km)  
光市街(光市役所)から約12分  
(約8km)



伊藤公資料館

〒743-0105 山口県光市大字東荷2250番地1

TEL/FAX 0820-48-1623 [https://www.city.hikari.lg.jp/kanko\\_bunka/itoko/5019.html](https://www.city.hikari.lg.jp/kanko_bunka/itoko/5019.html)